

みんなで作る 未来の場 かたち

ぷらっと

2024年
3月15日号
Vol. 10

発行:町田市 編集:政策経営部企画政策課
〒194-8520 東京都町田市森野2-2-22
TEL 042-724-2103 FAX 050-3085-3082

公共施設マネジメントに関する
詳しい情報はこちら(町田市
ホームページ)をご覧ください。



「ぷらっと」には、ぷらっと誰でも気軽に立ち寄れるという意味と、みんなが集い交流するプラットフォームという意味を込めました。本紙は不定期発行です。

子育てや教育の相談を一か所で受けられる

《仮称》子ども・子育てサポート等複合施設を 2029年度にオープンします →詳しくは中面をご覧ください

妊婦面接



子ども・子育て総合相談

発達・障がい相談



乳幼児健診

両親学級



都立児童相談所が 2025年度に町田に開設予定

これまで町田地域は八王子児童相談所の管轄でしたが、2025年度から町田児童相談所(仮称)が新たに設置されることになりました。

これにより、利用者は市外まで行く必要がなくなり、便利になります。

また、2029年度からは《仮称》子ども・子育てサポート等複合施設内に設置され、市のサービスとの連携により、さらに便利になります。

特別支援学級



緊急時の小児科

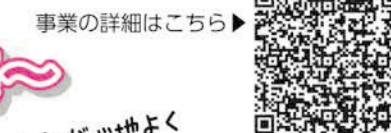
2025年度開設～2028年度まで(予定)
仮施設
(町田児童相談所(仮称)、子ども家庭支援センター、教育センター)
場所:町田市山崎1丁目2-17(現 都立町田の丘学園山崎校舎)
小田急線・JR横浜線町田駅からバス14分
JR横浜線古淵駅からバス8分

2029年度～(予定)
《仮称》子ども・子育てサポート等複合施設
場所:町田市木曽東3丁目1-3(現 教育センター敷地)
小田急線・JR横浜線町田駅からバス9分
JR横浜線古淵駅から徒歩10分



「子ども・子育て支援を切れ目なく受けることができる施設」 「地域に開かれた日常的に使える心地よい居場所」を目指しています

～((仮称)子ども・子育てサポート等複合施設整備等事業)～



事業の詳細はこちら

市では、多くの公共施設が更新の時期を迎えるにあたり、健全に維持・管理できるように、施設の総量を減らしつつもサービスの質を向上させ、将来につながる「公共空間・公共施設のより良いかたち」を目指し、公共施設マネジメントに取り組んでいます。
(仮称)子ども・子育てサポート等複合施設整備等事業では、木曾東にある境川団地地区の中心において、子ども・子育てに係る

様々な公共サービスと、地域の利便性や教育に対する付加価値を創出できる民間サービスを提供することで、多様な人々の交流による賑わいと、地域の魅力づくりの核となる施設をつくっていきます。
本号のぱらっとでは、本施設で受けられるサービスについて、ご紹介します。



様々な子ども・子育ての支援サービスが一か所で受けられるようになります

利用イメージ(例)

● Story ●

妊産婦から乳幼児期の親子連れが集う場所
Aさんのプロフィール：
出産を控えた20代。妊婦を対象とした個別面接のため、初めて施設を訪れた。



● 多様な相談に対応する総合案内窓口

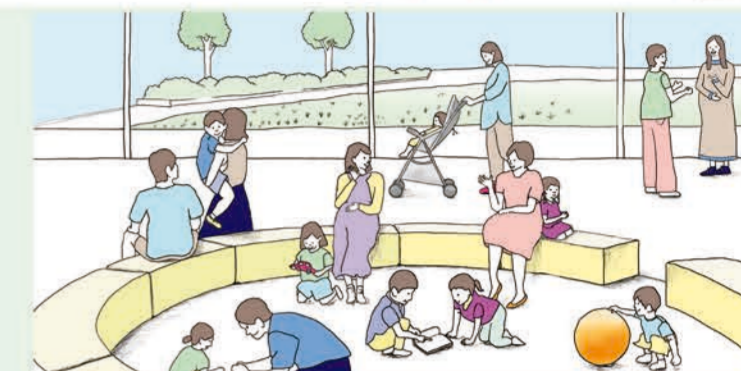
今日は、妊婦がサポートしてもらうための面接が受けられると聞いて、新施設を訪れた。まずは総合案内窓口立ち寄り、訪問の目的を告げると、すぐに待合スペースに案内してくれた。待合スペースで横に座っていたお母さんと少し話をしたところ、ここでは専門的な相談は基本的に予約制だが、どこに相談して良いかわからないような場合には、総合案内窓口で気軽に尋ねることもできるとのことだった。ちょっとしたことで相談できるのは、不安感の強い初めての出産を控える身としては、とても心強い。

● 安心して利用できる相談機能

しばらくして案内された相談室は、あたたかく話しやすい雰囲気、子ども用のおもちゃコーナーも用意されていた。面接してくれた保健師さんは、どんな質問にも丁寧に答えてくれたうえに、困りごとに対しては、様々な支援メニューなど具体的な提案してくれた。総合的できめ細やかな対応がありがたい。

● 自然と交流が生まれる場所

帰り際にカフェスペースで休憩していると、近くのキッズスペースで子どもを遊ばせていた子育て世帯のグループに知り合いがいて、会話の輪に入れてくれた。建物の内外のちょっとした交流ができるスペースが、自然と交流が生まれる良いきっかけとなっている気がする。悩みがちな子育て中の方々にとって、つい来たくるような施設になっていることが分かり、これからの子育てがさらに楽しみになった一日だった。



【凡例】 **NEW** 現在、この場所のない新たなサービス / **移転** 市内の別の場所からこの施設内に移転するサービス / ※1と2などの機能について、2024年度から「子ども家庭センター」とします。

移転 妊婦面接、両親学級、乳幼児健診※1 (保健センター)

安心して妊娠・出産を迎えるための相談、子どもの成長・発達や子育てのこと、家族の心身の健康などに関する些細な悩みや心配ごとを、保健師や管理栄養士、歯科衛生士に相談ができます。
講習会や乳幼児健康診査などの機会にかぎらず、身近な健康相談の窓口として利用できます。



移転 子ども・子育て総合相談※2 (子ども家庭支援センター)

18歳未満の子どもからの相談や子育てに関する相談を受けることができます。
民間施設を活用したショートステイ(宿泊保育)や育児支援ヘルパー派遣のサービス等、適宜ニーズに応じた各種サービスの申請ができます。

移転 発達や障がいに関する相談 (子ども発達センター)

0歳から18歳未満の障がいや発達に心配のある子どもに関する相談ができます。
相談後は、医師による診察を受け、必要に応じて発達検査や療育活動、機能訓練など各種サービスを受けられます。



就学・教育相談、教育支援センター (教育センター)

市内の小・中学校に入学する際に特別な支援を必要とする子どもを対象に、特別支援学級、通級指導学級または特別支援学校への就学相談ができます。
市内在住の年長から18歳までの子どもにおける不登校・友人関係等の教育上の課題の相談ができます。
市内在住で登校が難しい状況にある小・中学生を対象に、教育支援センターを開室しています。



NEW 養護・非行・障がい・育成相談、里親に関する相談など (町田児童相談所(仮称))

18歳未満の子どもに関する相談であれば、本人・家族・学校の先生・地域の方々など、どなたからでもお受けします。子どもの健やかな成長を願って、ともに考え、問題を解決していく専門の相談機関です。

市民の活動拠点 (木曾地区協議会)

木曾地区の課題を解決し、地区の魅力向上のために、様々な団体が集まって知恵を出し合い、協力しながら取り組むネットワーク組織です。地区の特性に合わせた様々な事業に取り組んでいます。
これまでの主な事業として、木曾の歴史に関する事業(クイズラリー)や講演会事業(ナダレンジャー講演)等があります。
(施設貸出)
多目的ホールと一部の会議室を市の業務で使用しない時間に貸し出します。様々な市民活動で利用できます。

NEW 地域の利便性や教育に対する付加価値を創出できる民間サービス

事業者の提案をふまえ決定します(2024年度中に決定予定)。
【参考】市民の皆さまが求める民間サービス(2021年度の市民アンケート結果より)
1位 児童関連施設(保育所・キッズスペースなど) : 58.8%
2位 医療施設(病院・クリニックなど) : 51.7%

移転 緊急時の小児科 (休日・準夜急患こどもクリニック)

中学生までの15歳以下の子どもが急に病気となり、かかりつけ医など近所に受診できる医療機関がない時に診療を受けることができます。 ※頭を打った、やけど、骨折などの外科的症状は除く。

非行等の相談 (サポートセンターまちだ)

地域における更生保護の諸活動を行なう拠点です。
「ひまわり相談まちだ」では、少年の暴力・徘徊・万引きなどの相談ができます。
「ひまわり相談まちだ」を行っている相談員は、元小中高の校長、夜間高校教諭、警察職員、刑務官などの人生経験豊富なスタッフで構成されています。



4月から開始
整備・運営等事業者を募集します

事業のコンセプトを市と一緒に実現する事業者を2024年4月から募集します。
事業手法はPFI(BTO)方式※です。
2024年度中に整備・運営等事業者を決定する予定です。
※4面左下の解説参照

事業へ参加希望の市内事業者を募集しています

事業に市内事業者が参加しやすくなるよう、希望する市内事業者を募集しています。
詳細は市HPで「市内事業者リスト登録・公開手続 実施要領」をご覧ください。
募集期間：2024年8月30日(金)まで

事業スケジュール

※変更となる場合があります。 ▼現在

2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
整備 基本計画 策定	公募準備	整備等 事業者公募・ 契約	設計・建設工事				オープン
			仮設(町田児童相談所(仮称)、子ども家庭支援センター、教育センター)				



ブラインドサッカー

忠生第六小学校の跡地に (仮称)町田木曾山崎パラアリーナを整備します

パラバドミントン



忠生第六小学校の跡地(町田市山崎町)において、「スポーツ」と「食」の両面から「健康増進関連拠点」を形成するため、現在、整備を進めている中学校給食センターにあわせて、(仮称)町田木曾山崎パラアリーナを整備します。

(仮称)町田木曾山崎パラアリーナとは…

(仮称)町田木曾山崎パラアリーナは、2013年度に策定した「町田市木曾山崎団地地区まちづくり構想」で掲げている「健康増進関連拠点」を実現するため、年齢や障がいの有無・種別にかかわらず、スポーツに取り組むことができる体育館等を整備します。

具体的には、以下の3つの役割を担う、ユニバーサルデザインを取り入れた、誰もが利用しやすいインクルーシブな施設を目指します。

町田市域の中心近く
山崎団地の北側だよ



(仮称)町田木曾山崎パラアリーナの3つの役割

役割1	地域の健康づくりの拠点となる施設 地域特性を踏まえ、地域の健康づくりの拠点として、高齢者をはじめ、幅広い世代がスポーツ活動を楽しむことができる施設
役割2	パラスポーツの普及啓発の拠点となる施設 インクルーシブの概念を取り入れ、障がいの有無や種別にかかわらず、誰もがスポーツに親しむことができる施設
役割3	地域の多世代交流の核となる施設 緑豊かな広場やオープンスペースなどを導入し、多様な利用者が憩い、幅広い世代が交流できる施設



施設の概要(案)

諸室	機能
競技ゾーン	アリーナ: メインアリーナ、サブアリーナ、観覧場、器具庫 トレーニング室: トレーニング室 (車いすの利用も想定) 多目的室: 多目的室 (防音機能あり)
共用ゾーン	医務室、授乳室: 医務室、カームダウン・クールダウンエリア※、授乳室 更衣室: 更衣、シャワー、ロッカー 共用部: 風除室、エントランスホール、エレベーター、廊下、階段、トイレ
運営管理ゾーン	事務諸室: 事務室、受付 防災備蓄倉庫: 防災備品を保管する倉庫 機械室: 機械室
外構	駐車場、駐輪場及びバイク置場、緑地、広場 など ※感情やストレスが高まった際、気持ちを落ち着かせるスペース。

障がい者の方、車いすの方も
利用しやすい配置や
動線の施設をつくるよ



2027年度中のオープンを目指して進めていくよ

スケジュール(案)

2024年度				2025年度	2026年度	2027年度
4-6月	7-9月	10-12月	1-3月			
公募準備	整備等事業者公募・選定		契約締結	設計・整備工事		オープン

事業手法

PFI手法: BTO方式
(Build-Transfer-Operate)

BTO方式は、施設的设计から整備工事、運営・維持管理までを一括発注する手法の1つ。

施設の運営や維持管理を見据えた設計を実現することができ、民間事業者のノウハウやアイデアをより活かした施設の整備や運営が期待できます。



木曾山崎団地地区のまちづくり

(仮称)町田木曾山崎パラアリーナの整備計画地を含む木曾山崎団地地区のまちづくりについては、「町田市木曾山崎団地地区まちづくり構想」に、その方向性を示しています。

(仮称)町田木曾山崎パラアリーナの整備計画地である忠生第六小学校跡地は、この構想において、少子高齢化の進行に対応し、健康的で安心して暮らしていくための「健康増進関連拠点」に位置付けています。この方向性に基づき、「食」と「スポーツ」の両面からの健康増進を目指し、中学校給食センターと体育館の整備に向けた取り組みを進めています。



▲旧忠生第六小学校
※現在は「健康増進関連拠点」整備に向け解体。